

(様式第 11 号) (第 14 条関係)

年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

事業名	郷土芸能と人形浄瑠璃に触れる
団体名 (連絡先)	文楽伝統芸能振興長野委員会 090-4078-5352
総事業費	245,886 円 (うち補助金: 120,000 円)

事業内容

日本各地の郷土芸能として親しまれてきた人形浄瑠璃。長野県では南信地方で人形浄瑠璃座が複数あり、地域の古典芸能として育まれている。2021年11月14日、その中でもっとも歴史のある黒田人形座が、演目を披露し、地域での歴史や活動の解説、参加者らの体験コーナーなどを行い、人形浄瑠璃に直接触れる機会を設けた。会場となった発地市庭には、およそ50名の参加者が集まり、三番叟などの演目を見たり、黒田人形の歴史や人形の仕組みなどを体感した。



【三番叟を見る参加者】

事業効果

当初は8月下旬に企画し、告知などを進めてきたが、会場となる発地市庭が開催の中止を判断したため、延期となった。11月に開催出来たことはよかったが、日程決定から開催までの時間が短かったことや、費用の面から十分な告知が行えず、参加者が予定人数に達しなかったのは残念だった。またコロナ禍で学校への積極的な呼びかけも難しく、子どもの参加が少なかったのも悔やまれる。とはいえ、参加者の大半から好評を得て、伝統芸能に触れる時間を創設できたと実感している。

【目標・ねらい】

- 地域の郷土芸能を知り、伝統芸能に触れる機会を創設することで、文化的な地域づくりの一助となる。
- 子どもたちが伝統芸能を体感する。
- 地域間交流、相互理解

今後の取り組み

今回もコロナの感染状況で、事業の開催日程の変更などを余儀なくされたが、同じ長野県内での移動ということで、リスクが少なく開催できた。コロナ禍という状況下では、他県から出演者を招くより、県内の郷土芸能に着眼する方が良いと感じた。黒田人形座からも、来年以降の開催にむけ引き続き協力したいとの申し出を頂いた。来年は、黒田人形座での学校公演などを行い、子ども達が伝統芸能に触れる機会を設けたいと思う。また将来的には、軽井沢の郷土芸能である追分節や馬子唄、太々神楽などとの共演なども目指し、地域同士の交流につながれば嬉しい。

自己評価(目標達成率)【 B 】

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。